

令和6年度 新規拡充事業について

資料3

柱	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要
誰もが安全・安心に暮らせる まち	災害時要配慮者対策の推進	6,745	6,745	これまで、介護事業者との災害対策協定締結、高田地域での個別避難計画のモデル作成等を実施してきたが、令和6年度は、大学と連携した個別避難計画の他の地域への展開、災害時要援護者名簿の管理・更新、安否確認を行うための「無事です」シール作成等により、対策をさらに推進する。
シニアライフが 輝くまち	特別養護老人ホーム等介護サービス事業者への支援 【施設系・居住系介護サービス事業者支援事業】	58,220	58,220	介護人材の不足や施設の老朽化等への対応のために運営の厳しい状況が続く施設系・居住系介護サービス事業者に対し、緊急的な経営支援を目的とした補助を行う。
シニアライフが 輝くまち	東部地域包括支援センターランチ（相談窓口）の設置 【東部地域包括支援センターランチ設置事業】	5,288	5,288	東部地域包括支援センター圏域内において、地理的に相談につながりにくい駒込地域に新たな相談窓口を設置し、センター機能の強化を図る。（設置場所は検討中）
シニアライフが 輝くまち	高齢者向け区政情報誌発行事業	3,895	692	高齢者への情報提供を、3年ごとに全戸配布する「シニア×としまぐらし」から、最新の事業内容を掲載した「高齢者向け区政情報誌」の毎年発行に変更する。
シニアライフが 輝くまち	もの忘れ相談事業委託	1,537	69	認知症早期発見・早期対応を目的として医師が検査・相談を行う「もの忘れ相談事業」について、対応時間が長く、負担が大きい自宅訪問の委託単価を増額する。
シニアライフが 輝くまち	公衆浴場利用（おたっしゅカード）の拡充 【おたっしゅカードの拡充】	64,386	11,391	おたっしゅカードの利用回数を年30回から40回に拡充する。なお、区外1か所の公衆浴場も利用できるようにする。

柱	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要
シニアライフが 輝くまち	高田介護予防センター運営委託事業 の機能強化	26,014	6,918	高田介護予防センターの体制を強化するため、処遇改善を行うとともに、誰でも食堂の実施回数、受入れ人数を増やす。
シニアライフが 輝くまち	高田介護予防センター改修に伴う仮 施設移転関係事業	214	214	高田介護予防センター改修期間中の代替施設に係る経費を計上する。
シニアライフが 輝くまち	入浴特化型通所サービス 【入浴特化型通所事業】	297,448	5,356	在宅要支援者の中で通所サービス事業の新たなメニューとして、入浴特化の通所サービスを委託形式で実施する。
シニアライフが 輝くまち	高齢者世帯（低所得）へのエアコン 設置助成 【高齢者世帯へのエアコン設置助成事 業】	16,600	16,600	住民税非課税の75歳以上のみの世帯に対して、熱中症対策としてエアコン購入費用の一部を助成する。
シニアライフが 輝くまち	誰でも食堂の充実 【高齢者のための誰でも食堂推進助成 事業】	1,880	1,880	高齢者の交流機会の増加、多世代交流の促進を目的として誰でも食堂を運営する団体に対し、開設経費、運営経費、イベント経費の一部を助成する。
シニアライフが 輝くまち	高齢者の保健事業と介護予防の一体 的实施事業の充実	4,728	1,844	事業開始4年目を迎え事業メニューを整理し、委託による専門職種の介入によりフレイル予防の質を高める。
人が主役の “ウォーカブル” なまち	福祉のまちづくりガイドマップの作成 【福祉のまちづくりガイドマップ事業】	13,079	13,079	高齢者、障害者、乳幼児連れの方々が安心して外出できるよう、区内のバリアフリー状況をHP上に公開する。また、データの経年劣化を防ぐため、年1回最新状況にデータを更新する。
人が主役の “ウォーカブル” なまち	「区民提案」としまベンチプロジェクト	3,253	3,253	まちなかに誰でも座れるベンチを設置し、人々の移動や交流を支援する。地域貢献を望む民間企業と連携し、ベンチの提供や有料広告の募集などを行う。